

令和6年度 第2回和光市文化財保護委員会 要点記録

日 時 : 令和6年11月18日(月) 13:30~16:00

場 所 : 国指定史跡午王山遺跡、長照寺、旧富岡家住宅(新倉ふるさと民家園)

出席者: 【文化財保護委員】田中明、田中茂、鈴木敏弘、大平秀和、岩田昌之、保科裕、
白井和広、網代雅代(8名参加)

【事務局】細野課長、山本課長補佐兼文化財保護担当統括主査
文化財保護担当 中岡主査、大澤主事補

○国指定史跡午王山遺跡

令和6年度18次発掘調査現場

V字環濠や住居跡など、当該遺跡の特色を確認

【委員意見】

- ・貴重な調査で、良い成果が出ていると思う
- ・午王山遺跡調査指導委員会の指導を受けながら適切な保存活用を進めてほしい



○長照寺(大いちょう)

長照寺所有の市指定天然記念物(景観重要樹木)

【委員意見】

- ・県指定の天然記念物と比べても遜色なく見える
- ・枝は、大いちょうの維持に必要な範囲で適切に剪定をする必要があるだろう
- ・所有者の負担軽減のため、市が管理について協力する必要がある



○旧富岡家住宅(新倉ふるさと民家園)

市指定有形文化財(建造物)

くれぐし(芝棟)や茅屋根の損傷が目立つため修繕を検討している

【委員意見】

- ・市が検討するように、主屋の損傷に関しては適切な管理がされるべきだと考える
- ・日常管理に関してはよく行き届いている

